

パイオニア(6773)のカーナビゲーション事業のお相手は？

金田 哲也

(Tetsuya KANADA, Ph.D.)

パイオニアはカーナビゲーションシステムなど車載機器での業務提携を、三菱電機(6503)、アルパイン(6816)、クラリオン(6796)の3社にそれぞれ打診した。提携が実現するか不透明な面もあるが、ここではLUSを使って研究開発の競合・補完性といった視点から、「技術的な相性」を比較する。

図は、パイオニア(6773)と3社それぞれとの、カーナビ関連特許出願の分布を示している。内容の近い出願特許はクラスタ化されひとつの円で表現される。クラスタの径が大きいものはより多くの出願特許を含んでいる。また、クラスタは互いに内容が近いものが近くに配置されている。したがって技術的に近いクラスタはひとつのグループ領域を形成し、それぞれが異なる技術要素に対応する。

図1を見ると、両社の得意分野がはっきりと分かれており、結論から述べると、アルパイン(6816)が提携相手としては一番相性が良いように見える。すなわちカーナビの基本機能についてはパイオニア(6773)がカバーしており、一方で操作や表示機能の分野はアルパインがカバーしており、うまく技術補完ができています。後者の分野は提携候補先3社の中でも、アルパイン(6816)が優位に立っている分野である。

図2,3を見ると、クラリオン(6796)がGPSあるいは音声認識分野に特徴を持ち、パイオニア(6773)と比較的技術面で補完関係にあるように見える。一方で、三菱電機(6503)の場合は技術の重複の割合が高く、技術的補完関係は少ないように見える。

以上、「技術的相性」面から比較すると、提携メリットが大きいのはアルパイン(6816)、クラリオン(6796)、三菱電機(6503)の順になる。さて、最終的な提携先がどこになるか、結果が楽しみである。



=====
<お問い合わせ先>

株式会社 創知 TEL(営業部):03-6231-7908 メール:customer@so-ti.com

*弊社ではXLUSのASPサービスおよび調査業務を行っております。ご関心のある方は上記連絡先までご連絡ください。

*本レポートに記載した内容および図表の全ての著作権は(株)創知が保有します。無断転載は禁止いたします。